

社会資本整備総合交付金 事後評価シート
暮らしを守り・未来につなぐまちづくり(重点計画)

令和2年2月

愛知県小牧市

(参考様式2) 社会資本総合整備計画(市街地整備) 事後評価書

令和2年2月 日

計画の名称	暮らしを守り・未来につなぐまちづくり(重点計画)																																	
計画の期間	平成27年度～令和元年度(5年間)				交付対象	小牧市																												
計画の目標	<p>本計画では、第6次小牧市総合計画の基本理念である「暮らしを守る・暮らしを豊かにする・暮らしを未来につなぐ」に基づき、第6次小牧市総合計画の主要課題の一つとして掲げている「名古屋鉄道小牧線を軸としたコンパクトシティの形成」及び「各地区の特性に応じた各種事業の実施」により、魅力的かつ安全・安心で住みやすいまちづくりの推進の実現に向けて各種事業を進めることを目的とする。具体的には本市の中心部である名古屋鉄道小牧駅周辺に医療、教育文化、社会福祉等の都市機能を集約させるとともに、そこから鉄道やバスといった公共交通により結ばれる地域では、道路や公園などの都市基盤整備や更なる公共交通の充実などにより良好な住環境の形成を図り、中心部では生活利便性の向上、賑わいの創出を、また、その公共交通で結ばれる地域では定住人口の増加を進め、人口減少及び高齢化を見据えた中で過度に自動車に依存しないコンパクトな都市構造の構築を目指すものである。これにより、まちの魅力を上向きさせ、暮らしを守り・未来につなぐまちの形成を図るものである。</p>																																	
計画の成果目標(定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> 事業計画区域である小牧駅周辺地区及び小牧線沿線地区の居住率を31.0%から31.8%に増加させる。 事業計画区域内を走行するこまき巡回バスの利用者を299,807人から353,772人に増加させる。 事業計画区域内の「小牧市は安全・安心でいきいきと暮らせるまち」だと思ふ市民の割合を60.0%から64.7%に増加させる。 																																	
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H27当初)</th> <th>中間目標値 (H29末)</th> <th>最終目標値 (R1末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>都市基盤整備等による住環境整備の効果を測るため、名鉄小牧線沿線部のうち事業実施予定箇所周辺(沿線市街地)での居住人口を調査し、本市全体の人口に占める割合を算出する。 (街なか居住率) = (沿線市街地の居住人口) / (本市全体の人口) × 100</td> <td>31.0%</td> <td>31.5%</td> <td>31.8%</td> <td>※A'-3, 5, 6, 7, 8及びC'-4については、H29から社会資本総合整備計画「安全・安心で快適な生活環境の推進」へ移行。(A'-4は事業期間がH27～H28のため、新規計画に記載なし。)</td> </tr> <tr> <td>都市基盤整備による公共交通機関の利用促進の効果を測るため、事業実施予定箇所に関連するこまき巡回バスの利用者数を計る。</td> <td>299,807</td> <td>332,186</td> <td>353,772</td> <td>※A-7はH30から重点配分対象事業となったため、再度、本計画に位置づけ。</td> </tr> <tr> <td>「暮らしの安全・安心の確保」に向けた都市基盤整備や各種事業実施の効果を測るため、「小牧市は安全・安心でいきいきと暮らせるまち」だと思ふ市民の割合をアンケートの実施により集計する。</td> <td>60.0%</td> <td>62.4%</td> <td>63.8%</td> <td>※A'-1及びC'-2, 5の一部については、H30より社会資本総合整備計画「小牧駅周辺都市再生整備計画」へ移行。</td> </tr> </tbody> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (R1末)	都市基盤整備等による住環境整備の効果を測るため、名鉄小牧線沿線部のうち事業実施予定箇所周辺(沿線市街地)での居住人口を調査し、本市全体の人口に占める割合を算出する。 (街なか居住率) = (沿線市街地の居住人口) / (本市全体の人口) × 100	31.0%	31.5%	31.8%	※A'-3, 5, 6, 7, 8及びC'-4については、H29から社会資本総合整備計画「安全・安心で快適な生活環境の推進」へ移行。(A'-4は事業期間がH27～H28のため、新規計画に記載なし。)	都市基盤整備による公共交通機関の利用促進の効果を測るため、事業実施予定箇所に関連するこまき巡回バスの利用者数を計る。	299,807	332,186	353,772	※A-7はH30から重点配分対象事業となったため、再度、本計画に位置づけ。	「暮らしの安全・安心の確保」に向けた都市基盤整備や各種事業実施の効果を測るため、「小牧市は安全・安心でいきいきと暮らせるまち」だと思ふ市民の割合をアンケートの実施により集計する。	60.0%	62.4%	63.8%	※A'-1及びC'-2, 5の一部については、H30より社会資本総合整備計画「小牧駅周辺都市再生整備計画」へ移行。
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																														
	当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (R1末)																															
都市基盤整備等による住環境整備の効果を測るため、名鉄小牧線沿線部のうち事業実施予定箇所周辺(沿線市街地)での居住人口を調査し、本市全体の人口に占める割合を算出する。 (街なか居住率) = (沿線市街地の居住人口) / (本市全体の人口) × 100	31.0%	31.5%	31.8%	※A'-3, 5, 6, 7, 8及びC'-4については、H29から社会資本総合整備計画「安全・安心で快適な生活環境の推進」へ移行。(A'-4は事業期間がH27～H28のため、新規計画に記載なし。)																														
都市基盤整備による公共交通機関の利用促進の効果を測るため、事業実施予定箇所に関連するこまき巡回バスの利用者数を計る。	299,807	332,186	353,772	※A-7はH30から重点配分対象事業となったため、再度、本計画に位置づけ。																														
「暮らしの安全・安心の確保」に向けた都市基盤整備や各種事業実施の効果を測るため、「小牧市は安全・安心でいきいきと暮らせるまち」だと思ふ市民の割合をアンケートの実施により集計する。	60.0%	62.4%	63.8%	※A'-1及びC'-2, 5の一部については、H30より社会資本総合整備計画「小牧駅周辺都市再生整備計画」へ移行。																														
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	4,833.7百万円	A	4,764.5百万円 (うち提案事業分 3.8百万円)	B	0.0百万円	C	69.2百万円	D	0.0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	1.5%																						

事後評価

○事後評価(中間評価)の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 担当部署内で事後評価を実施	事後評価の実施時期 令和元年12月 公表の方法 市ホームページ

1. 交付対象事業の進捗状況																			
交付対象事業																			
A 基幹事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	備考
											H27	H28	H29	H30	R1				
1-A-1	都市再生	一般	小牧市	直接	小牧市			都市再生整備計画事業(小牧駅周辺地区)	A=300ha 道路、中心拠点誘導施設等	小牧市						2,117.8	—	—	別添1
1-A-2	都市再生	一般	小牧市	直接	小牧市			都市再生整備計画事業(小牧駅沿線地区)	A=520ha 道路、公園、高質空間形成施設等	小牧市						2,563.7	—	—	別添2
1-A-7	下水道	一般	小牧市	直接	小牧市			町屋汚水枝線 外	L=3,565m	小牧市						64.0	—	—	
1-A-11	市街地整備	一般	小牧市	間接	組合			都市再生区画整理事業(小牧原地下地区)	A=2.0ha	小牧市						19.0	1.65		
											合計					4,764.5			

B 関連社会資本整備事業（該当なし）																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H27	H28	H29	H30	R1			
										合計					0.0		
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H27	H28	H29	H30	R1			
1-C-1	施設整備	一般	小牧市	直接	小牧市		歴史館耐震改修事業（小牧市歴史館）	耐震改修 716.55㎡	小牧市						30.0		
1-C-2	事業活用調査	一般	小牧市	直接	小牧市		事業効果分析調査（小牧駅周辺地区）	都市再生整備計画事業の事業評価	小牧市						1.2		
1-C-3	事業活用調査	一般	小牧市	直接	小牧市		都市構造分析調査	都市構造の調査・分析	小牧市						8.0		
1-C-5	施設整備	一般	小牧市	直接	小牧市		既存ストック再整備事業	施設整備 3,045㎡	小牧市						30.0		
										合計					69.2		
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				
1-C-1	基幹事業である「都市再生整備計画事業（1-A-1）」において、都市機能の集約化を図りながら既存公共施設の更新を進める中で、公共施設の耐震性向上に向けた整備を一体的に実施することにより、計画目標である安全・安心で住みやすいまちの実現を図る。																
1-C-2	基幹事業である「都市再生整備計画事業（1-A-1）」において実施した事業について、指標の数値の計測等の分析結果を用いて計画目標である暮らしを未来につなぐ市街地の形成状況について考察する。																
1-C-3	基幹事業である「都市再生整備計画事業（1-A-1）」及び「都市再生整備計画事業（1-A-2）」において、都市構造の分析及びその結果を用いた検討を行うことにより、計画目標であるコンパクトな都市構造の構築について考察する。																
1-C-5	基幹事業である「都市再生整備計画事業（1-A-1）」において、こども・子育て関連施設と一体的に整備することにより、利用者の多様なニーズに対応でき、計画目標である中心市街地にふさわしい賑わいのあるまちづくりの実現を図る。																
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業（該当なし）																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H27	H28	H29	H30	R1			
										合計					0.0		
その他関連する事業																	
計画等の名称 暮らしを守り・未来につなぐまちづくり																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H27	H28	H29	H30	R1			
1-A'-3	街路	一般	小牧市	直接	小牧市		小牧文津地区（(都)文津循環1号線ほか2路線）	区画整理 A=37.6ha	小牧市						248.0	社会資本総合整備計画「安全・安心で快適な生活環境の推進」へ移行	
1-A'-4	街路	一般	小牧市	直接	小牧市		小牧南地区（(都)名古屋犬山線ほか4路線）	区画整理 A=94.0ha	小牧市						36.0		
1-A'-5	道路	一般	小牧市	直接	小牧市		市道小牧市之久田線（第3-2工区）	現道拡幅 W=16-18, L=290m	小牧市						0.0	社会資本総合整備計画「安全・安心で快適な生活環境の推進」へ移行	
1-A'-6	道路	一般	小牧市	直接	小牧市		市道小牧市之久田線（第3-3工区）	現道拡幅 W=10.5-17, L=295m	小牧市						186.0	社会資本総合整備計画「安全・安心で快適な生活環境の推進」へ移行	
1-A'-8	公園	一般	小牧市	直接	小牧市		公園施設長寿命化対策支援事業	9公園、10遊戯施設改築、1橋梁	小牧市						67.0	社会資本総合整備計画「安全・安心で快適な生活環境の推進」へ移行	
1-C'-4	公園	一般	小牧市	直接	小牧市		公園施設長寿命化対策支援事業	休養施設の改築（4公園）	小牧市						10.0	社会資本総合整備計画「安全・安心で快適な生活環境の推進」へ移行	
										合計					547.0		
計画等の名称 安全・安心で快適な生活環境の推進																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H27	H28	H29	H30	R1			
1-A'-7	下水道	一般	小牧市	直接	小牧市		町屋汚水枝線 外	L=855m	小牧市						16.0	H29は社会資本総合整備計画「安全・安心で快適な生活環境の推進」に位置づけ	
										合計					16.0		
その他関連する事業の全体事業費				合計 (A+B+C+D)		563.0百万円	A	553.0百万円	B	0.0百万円	C	10.0百万円	D	0.0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C + D)		1.8%

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

・「小牧駅周辺地区」及び「小牧線沿線地区」都市再生整備計画事業の各種事業が計画的に進捗したことにより、良好な居住環境の提供が実現した。さらには、駅前広場整備をはじめとする交通結節点の環境が改善した。これらの整備が相乗効果を発現し、居住環境や交通環境に対し、市民満足度が向上したことにより、区域内の人口の定着や市民に身近な巡回バスの利用者の増加につながった。
 ・土地区画整理事業やその他基盤整備事業が計画的に進捗したことにより、市民が「安全・安心で生き生きと暮らせるまち」であるとの認識が高まったため、市民満足度の上昇につながった。

II 定量的指標の達成状況	指標① 事業計画区域である小牧駅周辺地区及び小牧線沿線地区の居住率を増加させる。	最終目標値	31.8%	目標値と実績値に差が出た要因	目標達成
		最終実績値	32.0%		
	指標② 事業計画区域内を走行するこまき巡回バスの利用者を増加させる。	最終目標値	353,772人	目標値と実績値に差が出た要因	目標達成
		最終実績値	525,166人		
	指標③ 事業計画区域内の「小牧市は安全・安心でいきいきと暮らせるまち」だと思ふ市民の割合を増加させる。	最終目標値	63.8%	目標値と実績値に差が出た要因	目標達成
		最終実績値	74.2%		

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況
(必要に応じて記述)

-

3. 特記事項 (今後の方針等)

・都市機能誘導区域内において、未だ狭隘道路が多くオープンスペースが無い等、住環境整備が必要不可欠なエリアが残っているため、これらの課題を解消するため、引き続き土地区画整理事業や公園整備事業などを継続して取り組む。
 ・本市が立地適正化計画で目標として掲げている『地域コミュニティの維持・活性化』を促進させるための拠点(住民同士が日常的に直接交流する場等)が充足していないため、拠点形成に取り組む。

(参考様式3) (参考図面) 市街地整備

計画の名称	暮らしを守り・未来につなぐまちづくり (重点計画)		
計画の期間	平成27年度 ~ 令和元年度 (5年間)	交付対象	小牧市

